



またかた

よろこび多いまちづくり

社協だより

vol.26

平成25年
2月1日号

「笑顔いっぱいデイサービス」



喜多方市社会福祉協議会が運営している5ヶ所のデイサービスセンターでは、大勢のボランティアさんの協力をいただきながら、利用者の皆さんが楽しく笑顔で過ごしていただけるよう趣向を凝らしたいろいろな催しや行事を行っています。

- 第8回喜多方市社会福祉大会…………… 2
表彰者・児童・生徒の福祉作文…………… 3・4・5
- ふれあいだより、陶芸教室会員募集…………… 6・7
- 共同募金、歳末助け合い実績報告…………… 8
- よらんしょネット…………… 9
- 喜多方市表彰・県社会福祉大会表彰…………… 10
- 寄付報告…………… 11
- 高齢者生産活動センター・ボランティア協力校… 12

第八回喜多方市社会福祉大会

十一月二十九日(木)に開催をいたしました第八回喜多方市社会福祉大会には、御来賓をはじめ、関係者、市民の皆様合わせて五百名を超えるご参加を頂き、盛会のうちに終えることができました。

大会開催にあたってご協力いただきました関係機関・福祉団体さらには実行委員の方々並びに市民皆様にあらためて御礼を申し上げます。



式典では、社会福祉の向上にご功績のあった二団体、十名の方々の表彰を行ったほか、市内小中学校の児童生徒を対象に募集した福祉作文の優秀作品5点について発表を行っていただきました。

また、式典終了後に行われた記念講演では、タレントで作家としても幅広く活躍されている島田洋七氏をお招きし、「笑顔で生きんしゃい」と題し東日本大震災以降、風評被害に見舞われている本市の皆様、笑いと元気を届けていただきました。

なお、これまで二月に開催してまいりました本大会を、積雪凍結等からの交通安全を確保するため、十一月に繰り上げて開催いたしました。特に問題もないことから来年度以降も十一月開催として進めてまいりたいと考えております。



海外研修報告

福祉課長 清野 洋一

この度、福祉に対する視野を広げ地域福祉の推進を目的とし、厚生労働省の外郭団体である福利厚生センターが主催したフランス・デンマークの海外研修(11月3日から8日間)に参加する機会に恵まれました。両国は国民性や社会環境の違いもありそれぞれに歴史ある文化を有し、福祉制度も大きく異なりますが、半世紀前から高齢化社会と向き合ってきた点は同じです。

今回の研修では、福祉施設を訪問し介護の現場を実際に見て福祉制度や運営面を学ぶことができました。特に、これまでの生活環境を介護に支障のない範囲で施設の中に取り入れるとともに、地域に開かれた形で施設運営を行い、個人の尊厳を守ることや生活の質の向上を目指す先進的な取り組みが大変参考になりました。この研修で得たものを、本会の福祉事業の推進に役立てていきたいと思っております。



デンマークの福祉施設「プレイセンター・スランド」(部屋は全南向きとなるよう設計されている。)

理事会・評議員会を開催しました。

平成24年12月18日に熱塩加納保健福祉センター夢の森にて理事会を、19日に塩川保健福祉センターいきいきセンターで評議員会を開催しました。

平成24年度上半期の中間収支状況報告や補正予算などの審議を行い、活発な質疑応答がなされました。

<報告事項>

除雪ボランティア検討委員会について平成24年度上半期収支状況報告
中間監査報告

<議案>

第1号 平成24年度一般会計補正予算(第1次)(案)

第2号 平成24年度地域包括支援センター特別会計補正予算(第1次)(案)

【社会福祉大会会長表彰】

田中 詢様
慶徳町ボランティアグループ様
吹萩福寿会様

【社会福祉協議会会長表彰】

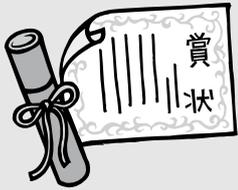
阿部 裕様 大塚 榮作様
大野 皐月様 佐藤 博様
豊子 光代様 永島 壽裕様
細田 俊夫様 山口 勇様
山本佑一郎様

【ふれあい社会福祉講座修了証交付】

計 四十七名

【福祉作文発表者】

○小学生の部
第一小学校 六年 長谷川南未さん
慶徳小学校 五年 五十嵐彩音さん
熱塩小学校 五年 安齋 優花さん
○中学生の部
会北中学校 三年 上野 桂育さん
塩川中学校 三年 山口 保輝さん



児童生徒の福祉作文 「ちいさなて」 掲載について

喜多方市社会福祉協議会では、次世代を担う小・中学校の児童・生徒の皆さんに、社会福祉への理解と関心を高め、共に支え合い生きる心を育てるために「ボランティア普及事業」として、市内各小・中学校を「ボランティア指定校」とし、ボランティア活動を支援しています。

これまでも、学校ごとに特徴ある活動の体験や、地域で体験したこと、福祉について感じていることなどをまとめた作文の優秀作品を、毎年開催される「喜多方市社会福祉大会」で発表いただき、表彰しています。以下に掲載したものは、平成二十四年度の優秀作品として選考され、十一月開催の福祉大会で発表された作品です。「社協だより」の新しい試みとして、多くの市民の皆さんにご紹介することになりましたので是非ご一読ください。

一年生の お世話から感じたこと



第一小学校

六年 長谷川南未

私が六年生になって「さくらんぼの会」という活動が始まりました。それは、一年生と六年生がペアをつくり、触れ合ったり遊んだりするという取り組みです。

一年生が入学したばかりの時、私達六年生は朝、担当する一年生のクラスに行つて、いろいろなお世話をしました。まず、私が一年生に教えたことは、朝、学校に来たらランドセルから教科書やノートを出し、机の中に入れておくことです。また、ランドセルは自分のロッカーにきちんとしようということも教えました。私が担当している一年生は、初めは、ランドセルから物を出したり、ロッカーにしまったりすることにまだ慣れていませんでしたが、毎朝、教えてあげることです。少しずつできるようになってきました。その様子を見て、私もうれしくなりました。

また、一年生の担任の先生からも、「毎日毎日、優しく教えてくれてありがとう。とても助かるわ。」と言われ、私は今まで毎朝、一年生のお世話をできてよかったですと思いました。

一年生が学校にも慣れてきたころ、いよいよ給食が始まりました。私は、この給食でも一年生のために何かをしてあげたいと思い、自分から進んで給食のお世

話に取り組みました。私が一年生に教えたことは、牛乳パックの開き方や食器の片付け方です。特に牛乳パックの開き方を教えるのはとても時間がかかりました。というのも、とても力があるからです。私の担当の子は、なかなか牛乳パックを開けられずに、ハサミを使ってしまふときがありました。でも私は、担当の子の手を取り、「こうやって開くんだよ。」と優しく教えてあげました。初めてその子が自分の力で牛乳パックを開くことができた時は、自分のことのようにうれしくて、おもわずその子と一緒にしゃべってしまいました。

「南未おねえちゃん、教えてくれてありがとう。」その一言が、またうれしくて仕方がありませんでした。

私がこれまで、朝や給食の時間に一年生のお世話をできて、一番やってよかったと思ったのは、一年生や先生に「ありがとう」と感謝された時です。その時のうれしさは、言葉に表すことができないくらいのものでした。お世話をした一年生だけではなく、自分自身までも幸せな気持ちにさせてしまうボランティア活動はすごいなと思いました。

これからも、この体験をボランティア活動の一步だと考え、たくさんの人を笑顔にすることができるように進んで行きたいと思っています。

私にもできるボランティア



慶徳小学校

五年 五十嵐彩音

三月十一日、私は三年

教室で図工の学習をしていた。ダンボールの工事がガタガタと倒れて私も立っていられなかった。揺れが続く、とてもこわかったのを覚えている。これが東日本大震災だった。しかし、私達の地域はまだいい方で、他の地域は津波や原発で大きな被害を受けてしまった。喜多方にもひなんして来た人がたくさんいた。ガソリンがなかなか手に入らなかったり、食べ物も少なかったりする中、私達ができるボランティアは何か考えたがなかなか思い浮かばなかった。しかし、学校でほ金活動があった時には、被害を受けた人のために進んでほ金をした。ひ害を受けて転校してきた子には、なるべく一緒に遊んであげることにした。私にできるボランティアは、こんなことぐらいしかなかった。

五年生になり、児童会でペットボトルキャップを集めることになった。外国でワクチンがなくて伝染病で死んでしまう子ども達のためにキャップを集めて送るとワクチンが届けられるのだ。五年生では、総合で福祉について学習している。私のテーマは、貧しい国の食料問題だ。日本では想像できないような状況にとてもおどろいた。そこで、そんな貧しい国の子ども達のためにワクチンを送ることがどれだけ大切か理解できたのだ。そこで、おうちの人にも

協力してもらって、台所にキャップ袋を置くことにした。今までは捨てていたキャップが人の命を救うのだ。この夏は暑かったためキャップもたくさん集まった。八百個以上集めて出したのでワクチン一人分は協力できたと思う。八百個で一人の命が救えるならこれからも協力して集めていきたいと思う。私は、初めて本当のボランティアができたと感じた。

九月になり、総合の学習で、近くの福祉施設に行くことになった。目的は、福祉の事について知ることと入所されている方とふれあつてくることだった。私は、働いている方と入所されている方にインタビューをさせてもらい、福祉の事がわかるようになった。その後でお年寄りの方と折り紙をしたり、一緒にお話しをしたりした。実は、この日のためにクラスのみんなで相談して、お年寄りの方が長生きするように願いを込めて、百一羽づつをみんな協力して作っていたのだ。色も元気になる色をみんな考えてきれいにそろえていた。一緒に歌う歌も、お年寄りの方がなつかしく歌えるようなきれいな歌を考えていた。どのお年寄りの方もとても喜んで、帰りには笑顔で見送ってくれた。私はボランティアは、自分の気持ちもあたたかくなると感じた。今までボランティアは、何か大きな事しなければならぬと思っていたが、小さな事でもできるということがわかった。相手の事を思いやり、考えて、動くことは立派なボランティアだ。私もこれからもいろいろなボランティアを続けていきたいと思った。

うれしかったお年寄りの笑顔



熱塩小学校

五年 安齋 優花

『夏休みボランティア』

つてなんだろう。先生からもらったプリントを見て思いました。話を聞いてみたら、二日間、お年寄りがいる施設に行つて、ボランティアをしてくとわかりました。私は、すぐやってみたくて思いました。熱塩小学校で「夏休みボランティア」を希望したのは、私だけでしたが、どんなことをやるのかなあとわくわくしてきました。建物の中に入つてみたら、

「あら、優花ちゃん、なにをしているの。」と、知りあいのおばあさんたちが、にこにこしながら声をかけてくれました。知っている人と話をしたので、きん張がほぐれて気持ちが楽になりました。私は、あいさつをした後、一日目の目標をたてました。わたしは、『お年寄りの人三人以上と話をする』に決めました。

私のことをよく知っている九十九歳のおばあさんが、いろいろな事を教えてくれました。私が小さいころの様子や、昔の熱塩の頃の話を知ることができました。九十九歳ぐらいになるともつと忘れていたのかと思つていたら、いろいろな事を教えてもらったのでびっくりしました。よく年をとるとぼけろといふけれど、ぼけるといふのは、年とは関係ないのだなと思えました。それから、利用者の皆さんと歌を歌つ

たり、体操をしたり、小物を作ったり、折り紙を折つたりしました。トイレと一緒に رفتたり、お帰りのときには、車いすを押したり、手をつないで車の中まで乗せてあげたりしました。どのお年寄りもにこにこして、

「親切に ありがとう。」と、言つてくれました。お年寄りの笑顔でうれしい気持ちになりました。三人以上の人と話すという目標は、あつという間に達成しました。

一日目は、『自分から話しかける』を目標にしました。トイレに行つたら、力が足りなくて水を出すレバーを最後まで押せないおばあさんに会いました。私は、

「だいじょうぶですか。」と、声をかけて、レバーをおしてあげました。初めて会つたおばあさんには、自分から

「おはようございます。」と、あいさつをしました。自分からあいさつをすることが気持ちよくなつてきました。二日目の目標も達成することができました。

二日間ボランティアをして、とてもいい気持ちになりました。なぜなら、相手の喜ぶ顔が見れたからです。たった二日間でしたがお年寄りの笑顔から幸せをたくさんもらいました。わたしはこれから、席をゆずったり、困つていたら声をかけたりして、お年寄りに出来ることをしてあげたいです。そして、私もいろいろな事を学んでいきたいです。

地域ボランティア



会北中学校

三年 上野 桂育

八月七日に行われた福祉ボランティアに参加しました。福祉ボランティアでは、一人ぐらしのお年寄りの家に、ヘルパーさんと一緒に訪れ、家の清掃などのお手伝いをします。

僕が訪れた家では、ガラス磨きや、軒下の掃除をしました。家が広く、お年寄りの方一人で管理するのは大変だろうな、と思いました。清掃が終わり、お年寄りの方といろいろと談話をしました。そのお年寄りの方は、震災で避難されてきて、とても苦労しているとのこと。また、昔教師をしておられた頃喜多方にこられた事もあり、色々な話を聞くことができました。また、お年寄りの方は、こんな話もされました。

「一人暮らしをしているとねえ、だれかが来てくれるだけでもうれしいんだよ。」
これを聞いて、僕は、「今まで一番つらいと思ったことは何ですか？」

「震災で家に帰れなくなってしまったのが一番つらい。また、この辺は雪が多く降って冬は大変だよ。でも、周りの人に励ましてもらって希望が沸いたよ。今日は本当にありがと。」とおっしゃっていましたが、喜んで下さってうれしかったです。

です。

今回のボランティア活動を通して、思った事があります。

それはボランティアをもっと広めていかなければならないということです。僕は三年間、夏の福祉ボランティアや冬の除雪ボランティアに毎年参加してきました。作業が大変だった時もありましたが、それ以上に達成感を得ることができました。ボランティアがもっと広まれば、お年寄りの方が安心して暮らせる地域社会が作れると思います。

また、僕は中学校の生徒で、様々なボランティア活動を行っています。具体的には、ペットボトルキャップの回収や、募金活動などです。回収されたペットボトルキャップを八百個でポリオワクチン一本と交換し、ワクチンはアフリカの子供達に贈られます。募金活動では、赤い羽根募金や義援金募金を行っています。これらの活動に、生徒や先生は積極的に取り組んで下さいます。二学期からは空き缶のプルタブ集めもしていきたいと思っています。小さな事でも多くの人が協力すれば大きな力になります。これからも、様々な場面でボランティアに携わっていきたいです。



サマーショートボランティアに参加して



塩川中学校

三年 山口 保輝

塩川中学校は、さまざまな地域で行われる活動に貢献し、よりよい学校作りを目指しています。その中でも、よく目立つのはボランティア活動です。今年のボランティア活動では「地域に貢献し、よりよい学校づくりを目指そう。」という目標を掲げました。そんな活動の中から二つほど紹介したいと思います。

まず一つ目はゴミ拾いボランティアです。毎年行われる行事で、この日は全校生徒・保護者・職員が協力し合い、前日の夜に行われた花火大会で出たゴミを拾います。この活動は、朝早くから始まるので、とても眠いですが、それでも毎年参加しています。参加してみると、「なぜゴミを捨てていくのだろう。」と思うのです。去年に比べれば少ないのかもしれないのですが、それでもゴミはいくらでも出できます。たちの悪いものでは、木々の中の奥の方に捨てていく人もいます。なぜ、花火のようなキレイなものを見た後に、人はその場にゴミを捨てるのが平気できるのか、全く分かりません。

これからは学校などでゴミ拾いの活動を行うと思いますが、ゴミを捨てる人が一人でも少なくならないとゴミの量を減らさないんじゃないかなと僕は思いました。二つ目は、ディサービスでの活動です。

夏休みにサマーショートボランティアスクールというものがありました。今年もボランティア委員でない人も参加してくれたので、やる気のある人が多くて、いいなあと思いました。

サマーショートボランティアスクールの主な活動は、朝、お年寄りの方々を迎え、室内までお連れし、一緒に話したり、遊んだりしました。そんな中でとっても難しかったのは、人との話し方です。毎日こられるお年寄りの方や前日とは違った方がいらっしやいます。ひとりひとりへの対応の仕方が違うので、慣れるまで大変でした。

体験していく中で、僕は改めてディサービスで働く人たちはすごいなあと思いました。このような介護の仕事は、お年寄りの方々に近くで支えたり、手助けなどをしたいと思わなければできない仕事なんじゃないかなあと体験して思いました。

今回のボランティア活動を通して、僕は、人と人が協力したり、支えたり、助け合っていくことが大切であるということが分かりました。いろいろな活動が、人との関係を作っていくことで、私たちが住んでいる市・県・国が成り立っているんじゃないかなと思います。

これからは僕たちで協力できる活動は、進んで参加していきたいと思っています。



平成24年度在宅介護教室を開催しました！

喜多方市社会福祉協議会では、高齢者等を在宅で介護している方や介護・福祉に関心のある方に、介護方法や介護サービス、制度に関する情報や介護者自身の健康管理等の知識を提供することを目的とし、平成22年度より市内3会場で在宅介護教室を開催しています。

本年度は、介護サービスの利用についての講義とベッド上での介護方法の実技に加え、歯科衛生士の村岡ケイ子先生には高郷会場、熱塩加納会場、武藤利子先生には喜多方会場の講師をお願いし「お口の中の健康について」と題し、口腔衛生の重要性と口腔ケアの仕方について学びました。



ふれあいだより



喜多方地区 1

喜多方地区老人クラブ連合会 壮年活動委員 年末年始の地域の安全を呼びかけ

老人クラブ会員は『年末年始交通事故防止県民総ぐるみ運動』にあわせて、12月10～12日の夕方4時30分から市内の各スーパーにて、喜多方警察署、防犯協会、交通安全指導員など関係団体と連携し、反射材付



手袋などの資材を配りながら、市民へ地域安全を呼び掛けました。

喜多方地区 2

「おもちゃ図書館にサンタがやってきた」 ～おもちゃ図書館クリスマス会～

12月14日、おもちゃ図書館にサンタさんが来てくれました！

「メリークリスマス！」と登場したサンタさんとおもちゃで遊んだあとは、ひとりずつプレゼントをもらって、うれしい楽しいクリスマスとなりました。



熱塩加納地区 1

～温泉保養施設 夢の森から～ 初のりんご風呂

お客様から「りんご持ってくるので、お風呂に入れて！」とりんご200個の寄付がありました。さっ



そく2回に分けて浴槽に浮かべ、りんごの香りと美肌成分たっぷりの温泉に浸り贅沢な気分を味わいました。

熱塩加納地区 2

新そば味わい世代間交流開催

12月1日(土)熱塩加納町のふれあい福祉協議会主催による「新そば味わい世代間交流」が開催され、一人暮らし高齢者や未就園児、民生児童委員など70人が交流を深めました。アトラクションでは喜多方祭囃子盆踊り保存会の演奏が披露されました。新そばや天ぷらなどが振る舞われ楽しいひとときを過ごしました。



塩川地区

いきいきサロン4地区交流会

高齢者の閉じこもり防止や介護予防、生きがいづくりなどを目的として取り組んでいるいきいきサロン活動ですが、塩川町では塩川・柴城・上窪・別府の4地区が毎月、楽しく活動しています。

今回、4地区の会員80名が集まり交流会を開催



し、今後の活動が益々充実したものとなるように歌や踊りやそれぞれの活動内容を報告しあいました。

山都地区

健康維持の秘訣は仲間と楽しく！ ～町民健康ウォーキング～

10月24日、山都地区ふれあい福祉協議会は町民健康ウォーキング大会と芋煮会を開催し、128名が秋の山都路を楽しく歩きました。途中の休憩地点では宝ひろいを行い、あちこちで歓声があがっていました。

ゴール後にいただいた芋汁は、ほどよく疲れた体においしく染みわたり、また参加者同士、おしゃべりをしながら流も図れたようでした。



高郷地区

一人暮らし高齢者の皆さまへ弁当配食サービス事業

「こんにちは、お弁当です。」

去る12月14日、高郷町の赤十字奉仕団員の皆さんは、在宅で一人暮らし高齢者の皆さまを対象に、お弁当の配食サービスを実施しました。団員の皆さんは、おいしく出来上がったお弁当を手に各

方面に分かれて出発しました。お弁当をお届けしながら、「風邪などひかずに元気で過ごされますように。」とお声をかけし、元気な姿を確認してきました。



お弁当を調理中の高郷町赤十字奉仕団員の皆さん



お弁当をお届けに各方面に分かれて出発(高郷公民館前)

陶芸教室開講のご案内

喜多方市社会福祉協議会塩川支所・山都支所では、平成25年度陶芸教室の会員を募集します。

募集期間 平成25年2月1日 ～ 3月31日

開講期間 平成25年4月下旬 ～ 11月中旬

会員資格 概ね55歳以上で喜多方市在住の方

尚、詳細についての問合せ、申込みは下記までお願い致します。

喜多方市社会福祉協議会 塩川支所 TEL 27-3948
山都支所 TEL 38-3100



平成24年度赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました

御 礼

市民の皆様におかれましては、ご健勝で新しい年をお迎えのこと心よりお喜び申し上げます。

平成二十四年度共同募金運動は「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに十月から三ヶ月間全国一斉に展開され、市民一人ひとりの善意により地域における社会福祉の充実を目標としてきました。皆様のお力添えにより、今年度も赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金共に目標額を上回ることができました。お寄せいただいた浄財は、援助を必要としている方への激励や、社会福祉の増進のための地域活動等に配分されることとなっております。

現在も東日本大震災の影響が残る本市ですが、ボランティア活動への積極的な支援や、地域の住民同士が支えあいながらつながり強化する事業への支援を行うことで、高齢者や障がい者、次世代を担う子どもたちをはじめ、全ての市民の皆様が安心して暮らせる福祉社会づくりを推進してまいります。皆様には、共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるためのご支援とご協力を賜りましたことに深く御礼申し上げます。

平成二十五年二月

共同募金会喜多方市支会長 山口 信也
喜多方市社会福祉協議会長 武藤 顕夫



	赤い羽根共同募金 目標額:8,700,000円	歳末たすけあい募金 目標額:5,099,000円
喜 多 方 地 区	4,675,922円	2,298,136円
熱 塩 加 納 地 区	483,809円	579,500円
塩 川 地 区	2,395,036円	1,274,392円
山 都 地 区	878,373円	651,386円
高 郷 地 区	392,345円	345,000円
合 計	8,825,485円	5,148,414円

“よらんしよネット”

喜多方市地域包括支援センター
TEL.0241-21-8856

～地域包括支援センターだより～

こんなプログラムも
取り入れています!

介護予防はゲーム感覚で!!



最近の出前介護予防教室では、脳と運動機能の介護予防プログラム (CarePa～キャリパ～) も利用しています。プロジェクターとカメラで上半身を等身大に映し出し、ゲーム感覚で体を動かし楽しみながら健康維持・介護予防に役立っています。

7～8個の風船を大きなビニール袋に入れての風船バレー。

ガムテープを1、2枚貼ると風船の落ちる方向が変わり難易度アップ!!

地域包括支援センターは高齢者の方々の総合相談窓口です。センターには保健師または看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種が配置され、日々皆さまの支援に努めております。

今回は主任介護支援専門員が中心となり行なっている活動についてご案内いたします。

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業について

高齢者が地域で安心してその人らしい生活を送るためには、介護保険サービスや社会制度、市独自の配食サービスなどいろいろな制度・資源をうまく活用できるように下のような包括的および継続的な支援を行なう(「地域包括ケア」と呼ばれる)ことが必要です。そのため地域包括支援センターは地域のさまざまな機関・専門家と連携や協力できる体制づくりに取り組んでいます。

包括的ケアマネジメント

高齢者の方々の抱える「介護」「医療」「金銭管理」などの困りごとについて、介護サービスのみを利用するだけでなく、さまざまな社会制度やサービスなど社会資源を組み合わせ、本人の生活を共に考えていきます。

継続的ケアマネジメント

高齢者の方々の状況は、時間や場所とともに変化します。発病や病状悪化で入院したり、住み替えなどにより生活環境が変化しても安心して過ごしていけるよう継続した関わりをもちます。

ノロウイルス感染症の予防について

昨年は12月に全国各地で集団感染がみられたノロウイルス。感染性胃腸炎の原因となるととも感染力が強い感染症です。今季の患者数は過去10年間の同時期に比べ2番めに多い水準となっています。ここで、おさらいしておきましょう。

《ノロウイルス感染症とは?》ノロウイルスは、人の小腸で増殖するウイルスです。感染力が強く、ごく少量でも口から体内に入ること感染し、下痢や嘔吐等を引き起こします。

- **主な症状** 嘔吐・下痢・腹痛・発熱が通常1～2日症状が続く。感染していても無症状の場合あり
- **主な感染経路** ・ノロウイルスに汚染された食品(とくに二枚貝)を加熱不十分で食べた場合
・感染者が調理する等でウイルスが付着した食品を食べた場合
・感染者の便や嘔吐物などの処理時にウイルスが口に入った場合
- **発生時期** 11月～3月にかけて多く発生
- **消毒方法** 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)で消毒、または熱湯消毒(85℃で1分以上)。

塩素系漂白剤(ハイター、ブリーチなど)を使った消毒液の作り方

使用する場所	方法	できあがり濃度
嘔吐物や便、汚物がついた床・便器など	原液10ml + 水500ml	約0.1%
ドアノブ、手すりなど直接手で触れる場所の拭き取り消毒	原液10ml + 水2,000ml	約0.02%

※塩素5%の原液10ml(ペットボトルキャップ2杯)



平成24年度 家族介護者交流事業開催

在宅で要介護者の方を介護されている方々の交流や研修、介護者同士の情報交換、介護者の心身のリフレッシュを目的に開催した平成24年度家族介護者交流事業は、日帰りコースと宿泊コース各1回ずつ実施しました。

日帰りコースは参加者14名のみなさんと新潟県寺泊方面へ行ってきました。昼食を囲みながらのお話の中では、日頃の介護で気を付けている事などをご自分の体験を基に思い思いに話されていました。

宿泊コースは参加者25名のみなさんと新潟県柏崎方面へ行ってきました。研修会では柏崎市にある「運動あそび塾しらさん家」の指導員の方を講師としてお招きし「1人でできるリフレッシュ講座」と題し、タオルを使ったストレッチやグループに分かれてのレクリエーションなどを行いました。また、夕食の懇親会では、じゃんけん大会やカラオケなどで親交を深めていらっしゃいました。

参加者のみなさんからは「とても楽しい時間を過ごせた」「大いにためになった」との声が多く寄せられ、短い時間ではありましたが心身のリフレッシュができたようでした。

平成24年度喜多方市表彰 第66回福島県社会福祉大会表彰

本年度の喜多方市表彰並びに第66回福島県社会福祉大会において、喜多方市社会福祉協議会の関係者の皆さんが、それぞれの御功績により表彰されました。

《平成24年度喜多方市功労者表彰》

○社会福祉・保健衛生功労

阿部 裕 様

《第66回福島県社会福祉大会表彰者》

○県知事感謝状

荒明 毅 様、大塚 静枝 様、小檜山信夫 様、齋藤千代子 様、佐久山洋子 様

東條 健一 様、林 健一郎 様、三浦 主税 様、山田 隆吉 様

○県社会福祉大会会長表彰

須田 恭広 (職員)

おめでとうございます!



～ほのぼののニュース～

“今年もありがとうございました”

～一市民さんから善意の寄付～

喜多方市社会福祉協議会には今年も「一市民」さんから、素敵なお手紙と一緒に善意の寄付が寄せられました。いつもありがとうございます。

皆さんお元気ですか。

大変寒くなりましたね。あの猛暑には苦しめられましたね。福島原産で故郷を追われ、心に風穴があけられた浜通りの方々へ慰めの言葉ありません。でもそれにめげず逞しく頑張っている姿に心うたれ、私も頑張っていこうと思います。

今まで日本を支えてこられた高齢者を粗末にはいけませんよね。そんな日本ではないと思いたいですね。

高齢者頑張れ!生活の知恵を後輩に残してください。

職員の方々は、これからも高齢者のために温かく励まし面倒をみていて下さい。やがては自分も行く道と思って奮闘を願います。

今年も年金から一部些少ですが贈ります。私も今は元気です。

送れるかぎり続けていきたいと思っています。時節柄御自愛のほど願います。

一市民より

「がんばろうきたかた」

暗いニュースをふき飛ばし、起き上がり小法師のように転んでも立ち上がる強さを持ちたいものです。

中央デイサービスセンター利用者のみなさんが、そんな思いを込めて作った70cmを超える大きな夫婦起き上がり小法師が、総合福祉センターの玄関ホールで皆さんのお越しをお待ちしています!



ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立てさせていただきました。
(順不同・敬称略)
 (平成24年10月1日～12月31日受付分)

一般寄付

〈喜多方地区〉

- ・豊川町下高額 菊地 保男
 - ・会津喜多方商工会議所 女性会
 - ・岩月町下台 山本 豪
 - ・岩月町下台新田 奈須 利夫
 - ・花園町 夏井 信雄
 - ・松山町村松二区 唐橋 秀子
- ### 〈熱塩加納地区〉
- ・熱塩加納地区老人クラブ連合会
 - ・針生 渡部 サイ
 - ・匿名 りんご二百個
- ### 〈塩川地区〉
- ・江添 吉田善一朗 掛け軸
- ### 〈山都地区〉
- ・堰沢 平野 純一
 - ・河原田 日下 義行
- ### 喜多方地区
- ### ご遺志による寄付
- ・関柴町上高額 吉川 順一
 - ・上三宮町下三宮 遠藤 雅一
 - ・岩月町治里 小澤 節夫
 - ・松山町松が丘 冠木 富夫
 - ・熊倉町吉沢 酒井 康幸
 - ・熊倉町小沼沢 五十嵐善一
 - ・上三宮町下三宮 齋藤 初美
 - ・松山町村松二区 佐藤 治良
 - ・神奈川県相模原市 角田 憲司

上三宮町上三宮一区	蓮沼 伸子	岩月町中田付	柴田 信雄
松山町村松一区	坂内 得成	神奈川県伊勢原市	渡部 和信
上町西区	五十嵐秀雄	寺町一区	曾山 一郎
豊川町塗物町	今井 育子	岩月町中田付	佐藤 茂
岩月町下台	小檜山雄介	寺町一区	大森 正義
関柴町西中明	佐竹 敦夫	上三宮町上三宮二区	棚本 秀和
押切南	五十嵐悦子	秋田県大仙市	坂本 勝儀
下町南部	渡部 岳史	関柴町東中明	穴澤富志雄
豊川町下高額	菊地 保男	熊倉町獅子沢	五十嵐義江
本仲町	夏井 久悦	北町	岩本 壽美
柳津町	鈴木 源一	東京都昭島市	角田 雄志
上三宮町上三宮二区	石島 桂子	上三宮町譲屋	大塚ツイ子
上三宮町譲屋	花積 榮司	千葉県松戸市	赤城 一義
菅原町	北見 誠	慶徳町豊岡	武藤 顯夫
豊川町下高額	十二村善理	関柴町平林	遠藤 作夫
東京都新宿区	川瀬志摩子	関柴町小松	原 利次
菅原町	渡部 安夫	東四ツ谷	小檜山公一
豊川町荒分	佐藤 優	松山町大荒井第二区	大八木政秀
松山町村松一区	小椋 義春	岩月町上田	新井田徳男
菅原町	高橋 修哉	豊川町下高額	吉田 雅
熊倉町小沼	古木 俊一	関柴町三城目	穴澤 規良
慶徳町舞台田	松田 永一	熊倉町熊倉上	松本 重一
関柴町関柴	大竹 和義	花園町	清野 志保
静岡県浜松市	近 史明	上三宮町上三宮二区	荒井 戸内
寺町二区	夏井 君枝	西四ツ谷	遠藤 豊喜
西四ツ谷	平岡みつ江	岩月町治里	小林 保雄
慶徳町豊岡	佐藤 直人	岩月町稲田	坂内 清志
埼玉県さいたま市	村岡美佐男	関柴町京出	永井 正人
冠木 孝	新仲町	関柴町上高額	武田 毅彦

上三宮町上三宮二区	蓮沼 裕一	熱塩加納地区	鶴名山悦也
埼玉県春日部市	青砥 弘和	金屋	福王寺光田
岩月町治里	渡部 清裕	赤崎	瓜生 耕一
桜町	渡信 智	五日	中川 孝志
寺町二区	薄 幸雄	赤崎林	小澤 一夫
慶徳町豊岡	関口 健一	大森	内海 恵子
関柴町関柴	渡部 勇	針生	花見 正一
熱塩加納地区	渡部 勇	日中	若菜 孝雄
熱塩加納地区	渡部 勇	中川原	庄司 信一
熱塩加納地区	渡部 勇	若宮	遠藤千代治
熱塩加納地区	渡部 勇	根岸	佐藤 毅逸
熱塩加納地区	渡部 勇	鷺田	鈴木津二子
熱塩加納地区	渡部 勇	日中	佐藤 秀雄
熱塩加納地区	渡部 勇	新崎	檜澤 祐一
熱塩加納地区	渡部 勇	日中	佐藤 秀雄
熱塩加納地区	渡部 勇	黒川	遠藤 剛
熱塩加納地区	渡部 勇	半在家	山本 一成
熱塩加納地区	渡部 勇	針生	木戸 光夫
熱塩加納地区	渡部 勇	水沢	上杉 修一
熱塩加納地区	渡部 勇	岩尾	田部 英夫
熱塩加納地区	渡部 勇	田中	荒川 昭一

塩川地区	塚原 敏昭	白河市	関口 徳成
金川	猪俣 修一	館原	五十嵐利一
西常世	前田耕一郎	神奈川県	安中登美男
渡部 清裕	榊山 光雄	藤沢	五十嵐 淳
渡信 智	大塚 政彦	千咲原	遠藤 裕二
薄 幸雄	加藤 憲一	早稲谷	岸田 利子
関口 健一	加藤 憲一	河原田	日下 義行
渡部 勇	齋藤 政司	館原	鈴木 清志
熱塩加納地区	加藤 敬	早稲谷	佐藤 航生
熱塩加納地区	酒井 行夫	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	荒井 寛人	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	吉田 重廣	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	白井 徳夫	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	酒井 登	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	福地真由美	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	齋藤 繁光	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	五十嵐靖浩	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	左雨 一弘	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	金澤 俊浩	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	角田 敏康	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	長谷川哲也	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	一條 國男	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	川上 恒久	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	田沢 一夫	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	秋山 啓三	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	高橋 清	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	藤川 文市	早稲谷	吉田 克夫
熱塩加納地区	山口 功	早稲谷	吉田 克夫

お詫びと訂正
 社協だより vol.25 7ペー
 ジの一般寄付の記事に誤
 りがありましたので、
 訂正してお詫び申しあ
 げます。

〔正〕 伊賀 守様
 〔誤〕 伊賀 尊様

高郷地区
 地割 唐橋 正志
 吹萩 佐藤 照
 利田 齋藤 裕之
 塩坪 大竹 金博
 西羽賀 齋藤 信也

平成25年度新会員募集お知らせ

喜多方市高齢者生産活動センター

【募集期間】 H25.3.1 ~ H25.3.31
 【募集人員】 各グループ 10名程度
 【募集資格】 市内在住者 60歳以上
 【費用】 年会費及び材料費

【陶芸グループ】

☆陶芸グループ

(週2回~1班は火・木曜日、2班は水・金曜日)
 地元「宮津の粘土」や流紋、笠間、志野粘土などを使って花器や茶碗、皿などを作陶し、販売しています。

☆手芸グループ (毎週火曜日)

籐・編み物・バッグ・パッチワーク・起き上がり小法師などを製作し販売しています。

☆押し花絵グループ (月2回程度 金曜日)

乾燥花々の押し花で、葉や額絵、ブローチ、絵ローソクなどを製作し販売しています。

☆織物グループ (毎週木曜日)

卓上織り機を使ってマフラー・コースター・テーブルセンター・バックなどを製作し販売しています。

☆園芸グループ (毎週火・木曜日)

圃場や温室で花木を栽培し、販売をしています。

☆菌茸グループ (春から秋の40日程度)

椎茸栽培で、原木の菌打ち作業や生椎茸・乾燥スライス加工などをして販売しています。

☆わら工芸グループ

(10月から12月を中心とした50日程度)

わらや菅を使って、注連縄や玄関飾りを製作し販売しています。

グループ活動には、他に「活動センターまつり」や各種イベントへの出展や販売があります。また、体験指導や技術向上のためのグループ視察研修等も行います。

※会費等は各グループにより異なりますので、詳細については、下記までお問い合わせ下さい。

【問合せ、申込み先】

喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1
 喜多方市高齢者生産活動センター
 電話 0241-24-2297



送迎バス

- ◎行き センター (8:45発) →①北町郵便局前→②出雲神社前
 →③リオンドール仲町店前→④市役所前→⑤三万石前
 →⑥図書館前→⑦塗物町屯所前→⑧喜多方駅 (9:10)
 →⑨COOPプラザ店前→⑩ローソン前→⑪コメリ松山店前
 →⑫北町公園前→⑬農協倉庫前→センター (9:45)
- ◎帰り センター (15:10発) →行きと逆コース
 ※曜日により多少コースが変更になることがあります。

ボランティア指定校の活動より

「会北中学校生徒参加による福祉ボランティア」 ~住民同士の助け合い、より温かい地域をめざして!~

会北中学校では、「福祉ボランティア」活動として、一人暮らしや高齢者のみの世帯を対象に冬は除雪、夏は大掃除や除草作業のボランティア活動を行っています。

毎年2月に実施している除雪ボランティアでは民生委員さんを中心とするボランティア協力員の方々と中学生で作る5~6人のグループで、熱塩加納地区でも特に豪雪地帯で除雪が困難な高齢者等世帯の除雪作業を行っています。

休憩時や作業終了後には、高齢者と語りあう時間を設け世代間交流もすすめており、地域の皆さんも中学生の訪問を心待ちにしています。



福祉ボランティアによる除雪作業



※きたかた社協だよりの作成経費として、社協会員会費及び共同募金配分金を活用させていただいております。

編集発行
 社会福祉法人 喜多方市社会福祉協議会
 〒966-0043 喜多方市宇上江3646番地1
 TEL 0241-23-3231 FAX 0241-23-3296

メールアドレス info@kitakata-shakyo.or.jp
 ホームページ http://www.kitakata-shakyo.or.jp/

●熱塩加納支所 TEL 0241-36-3112 FAX 0241-36-2776
 ●堀川支所 TEL 0241-27-3948 FAX 0241-27-3948
 ●山都支所 TEL 0241-38-3100 FAX 0241-38-3137
 ●高郷支所 TEL 0241-44-7111 FAX 0241-44-7112